

事業番号	15 08 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	社会教育施設事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課		
		実施期間	S24 ~	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備						

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】
	【目指す姿】
	【実施内容】

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	生涯学習推進センター指導者 養成研修受講者数	人	2,925	1,816	↘	3,487	↗	2,300	達成
2	県立長野図書館県内公共図書館 調査相談件数	件	85,011	63,189	↘	63,686	↗	81,350	未達成
3	少年自然の家における自主事業 実施回数	回	53.0	34.0	↘	30	↘	55.0	未達成
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	0	0	87,778
当初予算額	291,698	506,181	381,242
補正予算額	-19,512	3,919	-792
合計(A)	272,186	510,100	468,228
うち一般財源	233,457	430,971	414,690
決算額(B)	260,746	409,509	447,750
職員数(人)	25.0	25.0	25.0

成果指標 及び目標値 の設定理由	1.令和2年度の現状を踏まえ、数値を設定 2.現状を上回る数値を設定 3.令和2年度の現状を踏まえ、令和元年度の実績を上回る数値を目標に設定
達成状況 の分析	1.新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や主催研修等において、実施方法を変更し、Zoomを活用したオンラインでの参加型講座や、YouTubeを活用した講義の配信を実施したため、受講者数が増加した。 2.感染症拡大の影響でサービス制限せざるを得なくなった市町村図書館が多く、目標は未達成。ただし、受け付けた事例を広く共有するための取組として「レファレンス協同データベース」(国立国会図書館運営)への登録事例は増加した。 3.新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止となった。目標は未達だが、コロナ禍の中で実施可能な新規事業の開催等創意工夫がみられた。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進センターの講座を充実 「日本一の公民館活動を支えるセンターへ」という方向で、指導者の養成に一層力をいれ、生涯学習の振興と地域づくりを目指した講座を実施した。 市町村と県による協働電子図書館構築に向けた検討推進 長野県先端技術活用推進協議会内にワーキンググループ(WG)を設置し、市町村と県による協働電子図書館の構築に向けた検討を進め、令和4年度に開設予定となった。 【開催実績】WG8回、作業チーム等会議13回、個別チームミーティング22回 少年自然の家の体験活動の充実 指定管理者と連携して、教育効果・専門性の高い体験プログラムの開発・普及や自主事業を実施した。

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>【生涯学習推進センター】 センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらに進める必要がある。</p> <p>【県立長野図書館】 唯一の県立図書館として、市町村立図書館や関係機関等と連携し、知識基盤社会における県民の「知る・学ぶ」を支える情報拠点としての役割を果たす必要がある。</p> <p>【少年自然の家】 コロナ禍で子どもたちの体験的な学習の機会が減っており、遠出が困難になっている中で、県内の子どもたちの体験的な活動の場を維持するための、安全・安心な施設の運営を維持する必要がある。</p>	<p>【生涯学習推進センター】 講座を検討するため、外部有識者等の知見とつながりを借りて、主催事業の計画、改善、深化を図る。</p> <p>【県立長野図書館】 令和3年度に策定したミッション「共知・共創の広場」を軸に、情報基盤の進化、空間・場を活用した取り組みの推進、県民の学びを支える人材の育成支援、県立長野図書館「長野県eLibrary計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進等へ取り組む。 ・専門的な知見を有する外部機関との連携・協働</p> <p>【少年自然の家】 経年劣化した施設の計画的な修繕、改修の実施、県民への施設のPR、教育機関・国立信州高遠青少年自然の家・NPO法人等民間団体との関係強化を図りながら自主事業の充実を図り、長期的なあり方を検討する。</p>

事業番号	15 08 02	細事業一覧 (令和3年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育施設事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	生涯学習推進センター事業費	11,730 千円	10,609 千円	11,016 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	指導者養成等の研修事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔の市町村を考慮した移動講座の実施 ・住民相互の支援を基盤とする県政課題に対応する講座の実施 28講座 地域づくり推進研修 22講座 学校と地域の連携推進研修 1講座 地域の教育力向上研修 5講座 ・講座内容を検討するため、外部有識者等の知見とつながりを借りて、主催講座の計画、改善、深化を図った。 【会議開催 2回】 	
2	施設管理運営事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進センターの管理・運営 	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	県立長野図書館事業費	159,581 千円	164,047 千円	245,811 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	県立長野図書館事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・「市町村と県による協働電子図書館」構築に向けた検討推進 【開催実績】WG8回、作業チーム等会議13回、個別チームミーティング22回 ・「信州・学び創造ラボ」におけるオンラインも活用した共知・共創の取組みの継続 ・「信州発・これからの図書館フォーラム」の開催 5回 参加者計229人 	
2	コンピュータ管理事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・二次利用可能なコンテンツの充実や、それに伴うリテラシープログラムの展開等をはじめとした信州・知のポータル「信州ナレッジスクエア」の運用・充実 ・長野県立美術館アートライブラリーとのシステム統合 	
3	6階書庫増設工事	直接	書庫6階部分の増設工事(壁面・床張、書架設置、電気配線、消火設備整備、冷房機取付等)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	青年の家・少年自然の家管理運営費	89,435 千円	234,853 千円	190,923 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	少年自然の家運営事業 (指定管理委託料)	指定管理	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・管理し、多様な体験プログラムの利用者への提供に必要な経費の一部を支出 ・指定管理者: 望月・信州リゾートサービス(株)、阿南・阿南町 	
2	少年自然の家指定管理者選定会議費	直接	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に更新を迎える少年自然の家の指定管理者選定のための会議を開催 【選定会議開催 2回】 第5期指定管理者(R4~R8 5年間) 望月少年自然の家 信州リゾートサービス(株) 阿南少年自然の家 阿南町 	
3	少年自然の家運営事業 (特定建築物設備調査)	委託	少年自然の家について、建築基準法及び屋外広告物条例に基づく定期点検を実施	
4	少年自然の家修繕工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・望月少年自然の家: 給水設備改修工事 ・阿南少年自然の家: 空調設備改修工事 	